

精神保健と社会的取組の相談窓口の連携のための調査 質問紙

社団法人日本精神保健福祉士協会

次のご質問にお答えください。それぞれの質問のあてはまるものに○をお付けください。

I あなたご自身について伺います。あてはまるものに○をつけてください。

Q1 性別

1. 男 2. 女

Q2 年齢について教えてください。

1. 20～24歳 2. 25～29歳 3. 30～34歳 4. 35～39歳
5. 40～44歳 6. 45～49歳 7. 50～54歳 8. 55～59歳
9. 60～64歳 10. 65～69歳 11. 70歳以上

Q3 司法書士としての実務経験年数について教えてください。

1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満
4. 20年以上30年未満 5. 30年以上40年未満 6. 40年以上50年未満
7. 50年以上

Q4 簡易裁判所代理権の認定を受けていますか。

1. はい 2. いいえ

Q5 司法書士として活動している都道府県はどちらですか。

下記の表から該当する都道府県番号を選んで○をつけてください。

1 北海道	11 埼玉県	21 岐阜県	31 鳥取県	41 佐賀県
2 青森県	12 千葉県	22 静岡県	32 島根県	42 長崎県
3 岩手県	13 東京都	23 愛知県	33 岡山県	43 熊本県
4 宮城県	14 神奈川県	24 三重県	34 広島県	44 大分県
5 秋田県	15 新潟県	25 滋賀県	35 山口県	45 宮崎県
6 山形県	16 富山県	26 京都府	36 徳島県	46 鹿児島県
7 福島県	17 石川県	27 大阪府	37 香川県	47 沖縄県
8 茨城県	18 福井県	28 兵庫県	38 愛媛県	
9 栃木県	19 山梨県	29 奈良県	39 高知県	
10 群馬県	20 長野県	30 和歌山県	40 福岡県	

Q6 司法書士としての業務の中で、最も業務量の高い分野は何ですか。

1. 登記 2. 裁判 3. 成年後見 4. その他 ()

II わが国の自殺対策についてあなたの知っていることをお答えください。

Q7 自殺者数は平成10年以降毎年3万人を超える水準となっており、交通事故死者数と比べて約4～5倍となっており。このように多くの方が自殺で亡くなっていることを知っていましたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

Q8 「自殺は覚悟の上の行為である。」について、あなたのお考えに近いものをお答えください。

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

Q9 「自殺を口にする人は、本当は自殺しない。」について、あなたのお考えに近いものをお答えください。

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

Q10 「自殺は何の前触れもなく、突然に起きる。」について、あなたのお考えに近いものをお答えください。

1. そう思う 2. そう思わない 3. わからない

Q11 自殺予防週間について知っていますか。

1. 内容も含めて知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない

Q12 自殺対策基本法について知っていますか。

1. 内容も含めて知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない

Q13 自殺総合対策大綱について知っていますか。

1. 内容も含めて知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない

Q14 ワンストップサービスについて知っていますか。

*ワンストップサービスとは…仕事を探している離職者の方で、住居・生活支援を必要としている方が、ひとつの場所で、職業相談、住居・生活支援の相談・手続きができるようにするものです。

1. 内容も含めて知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない

Q15 いのちの電話について知っていますか。

1. 内容も含めて知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない

Q16 自殺対策における「ゲートキーパー」という言葉を聞いたことがありますか。

*自殺対策における「ゲートキーパー」とは…地域や職場、教育等の分野において、自殺のサインに気付き、見守りを行い、専門相談機関による相談へつなぐ役割が期待される人材のことです。

1. 聞いたことがある 2. 聞いたことがない

Q17 自治体（都道府県および市町村あるいは精神保健福祉センター・保健所などの行政機関）が主催する自殺予防に関する研修・学習会・相談会等に参加したことはありますか。

1. はい 2. いいえ

Q18 日本司法書士会連合会、各司法書士会、各ブロック単位で開催されている自殺予防に関する研修・学習会・相談会等に参加したことはありますか。

1. はい 2. いいえ

Q19 自殺対策を重要だと思っていますか。

1. 非常に重要だと思う 2. まあ重要だと思う
3. あまり重要だと思わない ⇒Q21へ 4. 全く重要だと思わない ⇒Q21へ

Q20 Q19で、「非常に重要だと思う」「まあ重要だと思う」と答えた方にお尋ねします。その理由のうち最もあてはまるものを一つ選んでお答えください。

1. 日本司法書士連合会が組織として自殺対策に取り組んでいるから
2. 業務で自殺関連行動のある人や自死遺族にかかわったから
3. 地域の関連機関などからの要請があるから
4. 社会貢献として
5. その他()

Ⅲ ご自身の業務に関連した自殺問題の経験についてお答えください。

* 自殺関連行動とは…自殺行為や自殺未遂に終わった自殺企図のことをいいます。

Q21 この1年間(平成21年1月～12月)において、個人の業務として相談を受けたりもしくは受任した方が自殺によって亡くなられた経験はありますか？

1. ある
2. ない ⇒Q23へ

Q22 Q21で「ある」と回答された方にお尋ねします。

①この1年間(平成21年1月～12月)でかかわりがあったのは何人ですか。 人

②その事例の内容に関して、個人情報に差し支えない範囲で別紙の表1にご記入ください。

Q23 この1年間(平成21年1月～12月)において、個人の業務として相談を受けたりもしくは受任した方が自殺未遂された経験はありますか。

1. ある
2. ない ⇒Q25へ

Q24 Q23で「ある」と回答された方にお尋ねします。

①1年間(平成21年1月～12月)でかかわりがあったのは何人ですか。 人

②その事例の内容について、個人情報に差し支えない範囲で別紙の表1にご記入ください。

Q25 この1年間(平成21年1月～12月)において、個人の業務として相談を受けたりもしくは受任した方が『死にたい』という告白や相談された経験はありますか。

1. ある
2. ない ⇒Q27へ

Q26 Q25で「ある」と回答された方にお尋ねします。

①1年間(平成21年1月～12月)でかかわりがあったのは何人ですか。 人

②その事例の内容について、個人情報に差し支えない範囲で別紙の表1にご記入ください。

Q27 この1年間(平成21年1月～12月)において、自死遺族に対して、個人の業務として相談を受けたりもしくは受任したことはありますか。

相続事件などでのかかわりも含めてご回答ください。

1. ある
2. ない ⇒Q29へ

Q28 Q27で「ある」と回答された方にお尋ねします。

①1年間(平成21年1月～12月)でかかわりがあったのは何人ですか。 人

②その事例の内容について、個人情報に差し支えない範囲で別紙の表2にご記入ください。

IV メンタルヘルス(心の健康)についてあなたの知っていることをお答えください。

Q29 あなたはメンタルヘルスにどのくらい関心がありますか。

1. 関心がある
2. やや関心がある
3. あまり関心がない
4. 関心がない
5. どちらともいえない

Q30 精神疾患の主な原因は遺伝であると考えますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q31 精神疾患は早期に適切な治療や支援を受ければ多くは改善すると思いますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q32 精神疾患は生活習慣病と同じく誰もがかかりうる病気だと思いますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q33 精神疾患を自分の問題として考えていますか。

1. 考えている
2. やや考えている
3. あまり考えていない
4. 考えていない
5. わからない

Q34 精神疾患の予防には、ストレスにうまく対処し、ストレスをできるだけ減らす生活を心がけることが必要だと思いますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q35 あなたのこころの不調に早い段階で気づくことが大事だと思いますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q36 不眠や不安などの症状が出ておかしいと思ったら専門家に相談しようと思いますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q37 精神疾患にかかった場合、病気を正しく理解し、焦らず時間をかけて克服しようと思いますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

Q38 精神疾患にかかった場合、家族や周囲の過干渉や非難は、回復を遅らせると思いますか。

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

V あなた自身のメンタルヘルス(心の健康)についてお答えください。

Q39 この1年間(平成21年1月~12月)のご自身のメンタルヘルスについてお伺いします。

1. 全く問題ない 2. あまり問題ない 3. 少し不調である 4. 不調である

Q40 自分のメンタルヘルスで気になるのはどういうことですか(複数回答)。

1. 眠れない 2. 食欲がない 3. 意欲がわからない
4. 落ち込みやすい 5. 飲酒量が増えている 6. いつもからだがだるい
7. 考え込んでしまう 8. 常に不安である 9. 特にない
10. その他()

Q41 日常業務におけるストレスの解消のために工夫されていることは何ですか(複数回答)。

1. 同業者と話す 2. 家族と話す 3. 仕事と関係ない知人友人と話す
4. 他の仕事で紛らわす 5. 仕事を離れたら仕事のことは考えないようにする
6. カウンセリングを受ける 7. 医療機関に受診(一般科・心療内科)する
8. 買い物をする 9. 趣味に打ち込む
10. 寝る 11. ギャンブル・勝負事をする
12. 旅行やドライブ 13. スポーツをする
14. 特にない 15. その他()

Q42 メンタルヘルスに関する研修会や講座等に参加したことはありますか。

1. はい 2. いいえ ⇒Q44 へ

Q43 Q42で「はい」と回答された方にお尋ねします。その目的は何ですか(中心となる目的をひとつ選んでください)。

1. 顧客への対応 2. 自分自身のため 3. 知識を得たかったから
4. その他()

Q44 あなたの最近2週間の心身の状態についてお答えください。

1	理由もなく疲れ切ったように感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
2	神経過敏に感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
3	どうしても落ち着けないくらいに、神経過敏に感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
4	絶望的だと感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
5	そわそわ、落ち着かなく感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
6	じっと座ってられないほど、落ち着かなく感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
7	ゆううつに感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
8	気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
9	何をしても骨折りだと感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも
10	自分は価値のない人間だと感じましたか。	1. 全くない	2. ややある	3. ときどき	4. たいてい	5. いつも

VI 業務におけるメンタルヘルス(心の健康)の問題についてお答えください。

Q45 この1年間(平成21年1月~12月)において、個人の業務として相談を受けたりもしくは受任した方の中でメンタルヘルスの問題を持つ人にかかわったことがありましたか。

1. あった 2. なかった ⇒Q47へ

Q46 Q45で「ある」と回答された方にお尋ねします。

①この1年間(平成21年1月~12月)で、メンタルヘルスに問題にかかわりがあったのは何人ですか。

人

②その中で、下記にあてはまる項目がありましたら選んでください(複数回答)。

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 同じ話を繰り返す | 2. 妄想と思われる話が続く |
| 3. 被害的な訴えをされる | 4. 話を理解してもらえない |
| 5. お金がないのに買い物やギャンブルをしてしまう | |
| 6. 飲酒を繰り返す | 7. 家族への虐待、暴力がある |
| 8. 精神状態が不安定なのに受診してくれない | 9. 服薬を怠っている |
| 10. なかなか仕事に就けない | 11. 家族・親族がかかわりたがらない |
| 12. 住む場所がうまく探せない | 13. 困ったことはない |
| 14. その他() | |

③その事例の内容に関して、その代表的なもの(5例以内)を個人情報に差し支えない範囲で別紙の表3にご記入ください。

Q47 日常の業務の中でメンタルヘルスの問題を考慮して対応が必要な問題が生じた時、どこに相談していますか(複数回答)。

- | | | |
|---------------|-----------|--------------------------------|
| 1. 精神保健福祉センター | 2. 保健所 | 3. 市区町村の相談窓口 |
| 4. 医療機関 | 5. 相談先がない | 6. その他() |

Q48 メンタルヘルス領域の専門家に期待するものは何ですか(複数回答)。

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 精神疾患なのかどうかを見分けてほしい | 2. 精神疾患の知識を学びたい |
| 3. 精神疾患の方への対応を学びたい | 4. 面接スキルを学びたい |
| 5. 何かあった時、どこに繋がたらいいのかアドバイスしてほしい | |
| 6. 病院を紹介してほしい | 7. 電話で相談に乗ってほしい |
| 8. カウンセリングや訪問してほしい | 9. 特にない |
| 10. その他() | |

Ⅶ 専門機関の連携についてお答えください。

Q49 精神保健福祉士を知っていますか。

1. 仕事内容も知っている
2. 名前だけ知っている
3. 知らない

Q50 精神保健福祉士と一緒に仕事をした経験がありますか。

1. はい
2. いいえ⇒Q52へ

Q51 Q50で「はい」とお答えの方にお尋ねします。どのような業務で一緒に仕事をされましたか（複数回答）。

1. 成年後見制度関連の会議等
2. 自殺対策関連の会議や相談会等
3. 成年後見人としてのかかわり
4. 自殺関連行動のある人とのかかわり
5. その他（ ）

Q52 自殺対策を推進していくための連携に何を期待しますか（複数回答）。

1. 顔の見える個人レベルでの関係づくり
2. 日常的な情報交換や助言
3. 合同の勉強会の開催
4. 相談窓口の設置
5. 地域における多職種の連絡会の設置
6. 総合的な自殺防止のシステム化
7. 特にない
8. その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

資料
1

資料
2

資料
3
1

資料
3
2

資料
4
1

資料
4
2

資料
4
3

資料
5
1

資料
5
2